

達成状況評価書(平成26年度)

部局名:サイバーメディアセンター

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、ICTを利用した教育環境の整備を、全学教育推進機構や教育学習支援センターと連携して実施し、授業支援システムCLEをはじめとする各種教育情報化のツールの利用普及を図っており、15の部局で様々な形態での遠隔講義システムの利用が進み、サテライトキャンパスを対象としたもの、複数大学を接続するもの、海外の大学との連携など、正規授業科目やセミナーなど多くの利用実績が上がったほか、CLEの利用も前年度と比較して20%以上の利用増加があり、1,000科目以上の授業科目において、CLEが利用されるなど、成果が上がっており、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、「ネットワーク型」学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点として、共同研究課題を公募し、採択された5課題について、センターの大規模計算機システムや可視化装置を活用して共同研究を実施したほか、さらに、革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の一員として、HPCIシステムの認証基盤システムの構築にあたって大きく貢献し、HPCIの共用計算資源の利用について、センターの供出した計算機資源の利用課題が10件採択されるなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、ウェブ上での学習システムであるWebOCMnextの教材作成システムを構築し利用を開始しており、英語2種、ドイツ語1種、日本語1種の教材を作成し、市民講座「大阪大学の次世代型市民講座～インターネットによる外国語学習へのお誘い」において利用され、取組が新聞紙に取り上げられるなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、全学IT認証基盤システム更改作業の開始や、高効率の冷却設備等を備えたデータセンターとしてITコア棟を建設し、利用を開始するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成26年度)

項目	コメント
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、遠隔講義システムや授業支援システムCLEの利用促進、ウェブ上での学習システムであるWebOCMnextの構築、データセンターであるITコア棟の建設など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>